

舟入生の皆さんへ

## 読書案内(その1)

「本を読みましょう」との学年主任からの呼びかけがありました。手軽に読める古典を、大胆不敵にも紹介します。

### 「風姿花伝」 世阿弥（講談社学術文庫）

多くの方が薦める本。その中の「年来稽古条々」はそれぞれの年齢に応じた能の稽古についてその意義と心構えが説かれている。中学生から高校生にかけては、今まで通りに事が進まないのでイラつくぞ。腐ってはならんぞ。ここは大事な時だぞ。みたいなことが書かれている。「時分の花」「初心」といった言葉が眩しい。現代語訳がついている。

### 「自省録」 マルクス・アウレーリウス（岩波文庫）

ローマ皇帝の日記。「寒い朝に起きにくい時には、君は何のために生まれてきたのかと問え」とか、何があったのか知らないが「体がへこたれていないのに、心がへこたれるのは情けない」などと書き記している。要するに、ぼやいている？いや、自分を励ましている。がんばれ皇帝。言葉にすること、書き記すことはアウトプットだと思いがちだが、インプットでもある。

### 「オイディプス王」 ソポクレス（岩波文庫）

ある国に王子が生まれた。占い師はこの子は父親を殺し、母親と交わる運命にあるから、殺すべきだと王に進言する。王は部下に命じて殺そうとするが、不憫に思った部下はこの子を人に託して育てさせる。成長したこの王子は……。ギリシャ悲劇の代表作。エディプス・コンプレックスのエディプスはオイディプスに因む。有名なスフィンクスの謎も登場する。

令和2年3月18日  
学校長